



菊池川流域 日本遺産

米作り、二千年にわたる大地の記憶
～菊池川流域「今昔『水稻』物語」



日本遺産
応援企画

期日：令和6年12月1日（日）

9時から（2時間程度）

（当日又は前日が雨の場合は、危険防止のため中止）

場所：菊池川堤防（小島橋付近）

集合場所：「まちなの宝」案内板前 ※別紙地図参照

実施内容：★ハゼの実採取 正しい採取の方法を学びます

★ハゼ並木周辺のゴミ拾い

★ハゼの木の蔦切り 等

（軍手・カマ・高枝切ばさみ等をお持ちの方はご持参ください。）

ハゼ並木 清掃・保全活動



ハゼの実を守ろう！

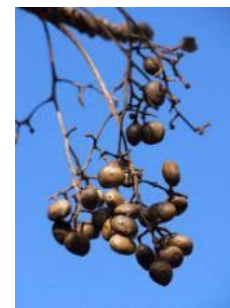
和ろうそくの原料となる「ハゼの実」は、貴重な資源でもあります。

でも、採り方を間違えると、実がなくなってしまうます。

来年も、再来年もずっとハゼの実がなるように、正しいハゼの実の取り方も学びます。

玉名町校区の「宝」を一緒に守っていきましょう！

玉名町校区まちづくり委員会は、ハゼの実を原料とした「和ろうそく作り」にも取り組んでいます。



守ろう！
まちなの宝

この区間で作業
を行います。

主催：玉名町校区まちづくり委員会
玉名遺産を活かす会
菊池川おおかわの会

問い合わせ先：森田 090-2588-4360



〈集合場所〉



〔菊池川堤防のハゼ並木について：玉名市ホームページより〕

菊池川堤防のハゼ並木

所在地:玉名市繁根木字島田 347-1 地先から六田 3 地先まで

玉名市六田 3 から小浜字東割 1168 地先まで(約 90,000 m²)

種別:登録記念物(植物)

指定年月日:平成 19 年 2 月 6 日

=====

玉名市を貫流する菊池川の堤防沿いには、多くのハゼが植栽されている。大浜橋から繁根木川を渡る JR 鹿児島本線までの約 3.2km の範囲の 237 本のハゼノキが「菊池川堤防のハゼ並木」として国の登録記念物となっている。植物としては国内初の国登録である。最も太い個体は幹廻り約 3.5m、樹高の高い個体は約 14.3m にも達している。

ハゼノキはウルシ科の落葉高木で、関東南部以西の山野に自生している植物であるが、木蠟(植物性油脂を原料としたろうそく)の原料として江戸時代、あるいはそれ以前に東アジア大陸から導入されたものを植栽したといわれている。木蠟生産と関連したハゼノキの植栽は江戸時代から九州を中心に行われ、各地で品種改良が行われた。堤防の根固めの目的で川沿いの土手などに多く植えられ各地でハゼ並木が形成されたが、木蠟生産の衰退とともに植栽地は減少し、多くのハゼが失われた。菊池川堤防沿いに残されたハゼ並木はかつての木蠟生産の名残であり、当時の面影をよく伝えるものである。

熊本藩では、寛文 4 年(1664)にハゼが特産品奨励品として植栽され、寛文 11 年には玉名ほか 10 ヶ郡にハゼ苗植え付けの触が出された。本格的な植栽のはじまりは享保 9 年(1724)頃といわれ、菊池川堤防のハゼもこの頃から植栽が開始されたものと考えられている。

